

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	都市公園（青葉区／6公園・8施設）
2 指定管理者	公益財団法人仙台市公園緑地協会
3 指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4 施設の利用状況	《利用者数》 119,741人（前年度比 65%） 平成29年度 174,055人 平成30年度 169,844人 平成31年度 184,202人
	《事業》 青葉区内の有料運動公園施設における通年管理事業
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 34,697千円 （ 31,612千円） ・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円） （ ）は前年度決算額
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 （ 0千円） ・ その他収入 0千円 （ 0千円）
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 通年、施設利用者アンケートを実施 ・ 桜ヶ丘公園運営委員会に参加（5回）

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の目的を十分に理解し、運営に反映させている。	24/24
II 施設の運営管理体制	適正な人員配置により日常の運営管理を行っている。災害対応マニュアルの整備や訓練の実施により、非常時についても十分に体制が構築されている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	施設や外構については、利用者が安全に使用できるよう保守管理がなされており、不具合発見時も速やかに修繕もしくは本市への報告を行っている。青葉山公園の外構管理については、NPO団体の環境活動と連携して除草時期を調整するなどの対応をしている。	24/24
IV サービスの質の向上	わかりやすい施設利用手順の掲示物など、利用者の利便性向上に努めている。また、天候によるコートコンディションを把握し、状態のよいコートを案内するなど、利用者の立場に立ったサービスの提供を行っている。	28/28
V 施設固有の基準	地域の公園運営委員会に参加し、公園管理について協力体制を構築している。NPO団体や利用者団体とも良好な関係を築き、団体からの意見を公園内の環境整備に反映させている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市公園緑地協会）による自己評価》
<p>管理運営については、毎週のように実施されている大会時には主催者の要望により早朝から開館の対応をし、無人公園の定期巡回は週2回実施した。台風や地震等の災害発生時には緊急点検を行い被害状況の把握を行い施設の不具合等の早期発見により、公園内を快適な状態に保つことができた。また、「消防訓練」では「通報・消火・避難訓練」を実施し、職員の危機管理能力の向上を図った。</p> <p>施設・設備の維持管理業務においては、運動施設公園敷地内の除草を業者委託との併用とし、野球場外野の芝生地等は乗用草刈機で職員自ら高頻度で除草することにより利用者の満足度を向上させた。西花苑公園や評定河原公園、青葉山公園においては管理図面に一切記載のない低木寄植えの剪定作業を、防犯及び美観を維持するために行った。また、桜ヶ丘公園で発生した倒木5件の伐採及びその玉切り処理と通路脇の洞のある落葉高木の伐採を行い、利用者の安全に努めた。</p> <p>また、桜ヶ丘公園では、桜ヶ丘公園運営委員会に5回参加しクローバー等植栽場所の除草禁止範囲の要望を受けたり、3月には春花壇の花植えを支援した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>利用者の安全な公園利用のため、施設全体について適正な管理を行っており、不具合発見時も迅速に対応している。利用者に対する情報提供・接遇についても気を配っており、わかりやすく丁寧な対応に努めている。また、地域の公園運営員会に参加し花壇作りを支援したり、「NPOホテルの会」の環境活動と連携して除草時期を調整するなど、地域の理解を得ながら公園の利用促進を図っている。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>新型コロナウイルス感染症に係る衛生管理を十分行うとともに、施設休館に伴う利用者への連絡説明などについても適切に速やかな対応を行った。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園課